

市民フォーラム・未来を語る 東京2020大会を機に考える共生社会の実現

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を契機に、障害の有無にかかわらずスポーツに親しむ環境を創出し、心のバリアフリーを推進することや、人種、言語などの違いを互いに認め合い、誰もが活躍できる共生社会の実現に向けて、今回の市民フォーラムでは、『あたりまえのものさし』を見直そう！』をテーマに開催します。

本市出身で、障害を通じた人間の身体のあり方を研究している講師の基調講演やパラリンピアンらを招いたパネルディスカッションを実施します。

- 1 開催日時 12月21日（土）午後2～4時
- 2 会場 生涯学習センター（東町5-6）5階ホール
- 3 その他 申し込み不要、先着順（定員170名）。手話通訳と要約筆記あり。
託児あり（要事前予約）

4 当日スケジュール

（1）第1部 基調講演

ア テーマ「目の見えない人は世界をどのように見ているのか」

イ 講師 伊藤 亜紗さん（東京工業大学リベラルアーツ
研究教育院／大学院環境・社会理工学院准教授）



（2）第2部 パネルディスカッション

ア コーディネーター 伊藤 亜紗さん

イ パネリスト（4名）



パラリンピアン

よしはら しいげお
葎原 滋男さん



パラリンピアン

おおた しょうこ
太田 渉子さん



市民代表
（スポーツ推進委員）

あおき じゅん
青木 純さん



八王子市長

いしもり たかゆき
石森 孝志